

国語科学習指導案

- 1 単元名 人物どうしの関係について話し合おう ～危友鶴（きゆうづる） 相関図を使って～
教材名 「風切るつばさ」（東京書籍 6年）

2 単元の目標

- ・ 語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしたり、語や語句を使ったりすることができる。 [知識及び技能] (1)オ
- ・ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C(1)イ
- ・ 言葉がもつよさを認識するとともに、すすんで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

3 本単元における言語活動

物語を読んで、内容を説明したり、考えたことを伝え合ったりする活動。

(関連：[思考力、判断力、表現力等] C(2)イ)

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしたり、語や語句を使ったりしている。 (1)オ	① 「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えようとしている。 (C(1)イ)	① すすんで文章を読んで自分の考えをまとめ、学習課題に沿って、それらを伝えようとしている。

5 指導観

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年3月告示）、第2章 第1節 国語 第2〔第5学年及び第6学年〕 2内容〔思考力、判断力、表現力等〕C読むこと(1)

イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。

を受けて設定した。

「学習の目的と理解、見通し」では、初発の感想を書き、そこで出た「みんなで考えたいこと」「疑問」を読み解いていくこととする。出た疑問を「クルル」「カララ」「仲間」「その他」で分類し、読みの大きな学習課題を作成する。その後、「時」「場所」「人」をキーワードに場面分けを行う。分けた場面に小見出しをつけ、どのような出来事があったのか分かりやすいようにする。

「構造と内容の把握」の過程では、場面ごとに叙述を基に登場人物の心情と人物の関係をまとめていく。ワークシートの上段に本文、下段は自分でまとめることができるようスペースを設けた。着目させたい叙述を教員ももっておきながら、児童と共に登場人物の心情を読み取る。

「精査・解釈」「考えの形成」の過程では、全場面を読み取った後、各場面で作成した人物相関図を基に学級での1番の課題「なぜクルルは再び飛ぶことができたのか」を話し合う。そのため、作成してきた人物相関図を根拠にしなが、飛ぶことができた理由を考える時間とする。

「共有」の過程では、今まで自分たちがまとめてきた関連図を見合い、意見や感想をもつ時間とする。その際に、互いのよさを見付けたり、感想を伝え合う時間を設けたりして、自分の良さに気が付くことができるようにする。

(2) 児童観

質問	児童の回答	人数 (割合※小数第1位四捨五入)
① 国語科の学習は好きですか。 (選択式)	<ul style="list-style-type: none"> ・好き ・どちらかといえば好き ・どちらかといえば好きではない ・好きではない 	
② 国語科の学習は得意ですか。 (選択式)	<ul style="list-style-type: none"> ・得意 ・どちらかといえば得意 ・どちらかといえば得意ではない ・得意ではない 	
③ 国語科の学習では、どの学習が好きですか。 (選択式・複数回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・物語文を読む学習 ・説明文を読む学習 ・スピーチ、話し合い、発表などの話すこと・聞くことの学習 ・文章を書く学習 ・言葉についての学習 ・漢字についての学習 ・音読、朗読の学習 	
④ 友達と考えを交流することは得意ですか。 (選択式)	<ul style="list-style-type: none"> ・得意 ・どちらかといえば得意 ・どちらかといえば得意ではない ・得意ではない 	
⑤ 友達と意見を交流するときに難しいと感じることは何ですか。 (記述式・複数回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の意見に質問をする ・自分の意見を伝えること ・会話が続くようにする ・相槌のうちかた ・相手に分かりやすく伝える ・相手の意見を認める、尊重する ・理由を踏まえて伝える 	
⑥ 物語を読むときに意識していることは何ですか。 (選択式・複数回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情 ・登場人物の会話 ・登場人物の行動 ・作者の考え、伝えたいこと ・言葉の意味 ・山場 	
⑦ 登場人物の気持ちはどんなところから分かりますか。 (選択式・複数回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・行動 ・会話文 ・言葉 ・様子 ・表情 ・挿絵 	

(3) 教材観

この作品は、「クルル」という中心人物が仲間との関わりによって、自分を信じることができなくなったり、飛ぶことができなくなったりする。対人物「カララ」の寄り添いによって、自他への信頼を回復し、再び飛べるようになったことを描いた物語である。クルルの心情は直接書き込まれている箇所が多いが、カララの心情は直接書き込まれている箇所がない。したがって、「カララ」の様子を「クルル」がどのように解釈したのかを読み取っていくことにより、登場人物の相互関係をつかんでいくことができる。「クルル」の心情は、直接表現以外に「つばさ」の音や羽ばたきにより象徴的に表現されている。「風切るつばさ」という題名にも着目をしながら、物語の全体像を読み取れるようにしていきたい。このように、児童が叙述を基にし、言葉に着目することで登場人物の心情にせまることができる。

以上のようなことから、教材をよく読む時間をとることで、登場人物の相互関係や心情を読み取ることができ、自分の考えを伝え合う教材として適している。

文章構造図

場面	概要	主な出来事
1	P78 ~P79 L12	仲間責められ、だまるしかないクルル
2	P79 L13~P80 L8	何もかも信じられず、自分のつばさの音すら雑音に聞こえるクルル
3	P80 L9~P81 L5	飛べなくなり、うずくまってプライドを保つクルル
4	P81 L6~P82 L1	横に来たカララと群れを見つめるクルル
5	P82 L2~P83 L14	カララを助けるために飛べて、つばさの音が心地よいクルル

6 年間指導計画における位置付け (第6学年 C 読むこと「文学的な文章」)

時期	単元名・「教材名」	重点指導事項
4月	朗読で表現しよう 「さなぎたちの教室」	イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えること。
6月	人物どうしの関係について話し合おう 「風切るつばさ」	イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えること。
9月	表現に着目して読み、考えたことを伝え合おう 「模型のまち」	エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。
12月	物語を読んで、人物の生き方について考えよう 「海のいのち」	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。
3月	明日への一步を、言葉とともに 「君たちに伝えたいこと」「春に」	カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

7 単元の指導計画と評価計画（全10時間）

過程	時間	学習目標	学習活動	評価規準 (評価方法)
学習目的の理解・見直し	第1時	教材文を読んで、初発の感想をまとめることができる。	1 教科書のリード文や題名、挿絵を基に、どのような物語かを予想し、交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">物語を読んで、感想を伝え合おう。</div> 2 教師の範読を聞き、初発の感想をまとめる。(みんなで考えたいこと、心に残った場面とその理由) 3 本時の学習を振り返り、次時の見直しをもつ。	
	第2時	単元の目標や学習計画を確かめて、学習課題を作ることができる。	1 本単元の目標を確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">人物どうしの関係をとらえよう。</div> 2 前時に書いた初発の感想を読み合う。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学習課題 なぜクルルは再び飛ぶことができたのだろうか </div> 3 学習課題に迫るための言語活動を設定する。 4 本時の学習を振り返り、次時の見直しをもつ。	
	第3時	物語の展開を捉え、出来事を確かめることができる。	1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">物語を場面分けし、小見出しをつけよう。</div> 2 時・場所・人物に着目し、五つの場面に分ける。 3 それぞれの場面を一文にまとめる。 4 本時の学習を振り返り、次時の見直しをもつ。	

構造と内容の把握	第4時	1 場面の人物の相互関係を叙述から捉えることができる。	1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">1 場面を読み、人物の関係をまとめよう。</div> 2 1 場面を音読する。 3 登場人物の行動・様子・会話・描写に着目をして、人物関係図にまとめる。 4 トリオで確認し、全体で交流する。 5 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	アー① 語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしたり、語や語句を使ったりしている。(ワークシート)		
	着目させたい叙述 ・うずまく風の中・無言の夜 ・後悔がうず巻いていた ・あのととき、もっと～気付いていれば… ・ああいうクルルル・だまるしかなかった	第5時 (本時)	2 場面の人物の相互関係を叙述から捉えることができる。		1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">2 場面を読み、人物の関係をまとめよう。</div> 2 2 場面を音読する。 3 登場人物の行動・様子・会話・描写に着目をして、人物関係図にまとめる。 4 トリオで確認し、全体で交流する。 5 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	イー① 「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を捉えようとしている。(ワークシート、発言)
	着目させたい叙述 ・まるで仲間殺しの犯人のように～ ・カララでさえ、だまって～ ・自分のつばさの音すら、みっともない雑音 ・あのととき、どうして～みんないやだ	第6時	3 場面の人物の相互関係を叙述から捉えることができる。		1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">3 場面を読み、人物の関係をまとめよう。</div> 2 3 場面を音読する。 3 登場人物の行動・様子・会話・描写に着目をして、人物関係図にまとめる。 4 トリオで確認し、全体で交流する。 5 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	
	着目させたい叙述 ・ある朝、クルルルは飛べなくなっていた ・ただじっと～うずくまるしかなかった ・おしつぶされそうな最後のプライド	第7時	4 場面の人物の相互関係を叙述から捉えることができる。		1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">4 場面を読み、人物の関係をまとめよう。</div>	

		<p>着目させたい叙述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カララは何も言わずに～降り立った ・たとえ飛べたとしても～言うつもりだった ・ただじっととなりにいて、南にわたっていく～ 	<ol style="list-style-type: none"> 4 場面を音読する。 登場人物の行動・様子・会話・描写に着目をして、人物関係図にまとめる。 トリオで確認し、全体で交流する。 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。 	
	<p>第8時</p>	<p>5 場面の人物の相互関係を叙述から捉えることができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>5 場面を読み、人物の関係をまとめよう。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 5 場面を音読する。 登場人物の行動・様子・会話・描写に着目をして、人物関係図にまとめる。 トリオで確認し、全体で交流する。 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。 	
	<p>第9時</p>	<p>物語を読んだ感想を共有するとともに、単元の学習を振り返ることができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>物語を通して人物どうしの関係をまとめよう。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 今までの人物相関図を踏まえて、物語を通しての人物の関係をまとめる。 全体で交流をする。 学習を振り返り、まとめる。 	<p>ウー①</p> <p>すすんで文章を読んで自分の考えをまとめ、学習課題に沿って、それらを伝えようとしている。(ワークシート、観察)</p>
<p>精査・解釈、考えの形成</p>	<p>第10時</p>	<p>これまでの学習を振り返って心情の変化とその理由を捉えることができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「なぜクルルは再び飛ぶことができたのか」を発表しよう。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 中心人物クルルの気持ちががらりと変化した一文に線を引く。 (飛べなかったのに飛ぶことができた理由を考える。) 同じ意見の子同士で交流をし、理由を明確にする。 全体で討論をする。 	
	<p>共有</p>			

			5 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	
--	--	--	-------------------------	--

8 指導に当たって

◎児童の意欲を引き出す活動

児童同士の会話の中で、ドラマやアニメ、ゲームなどの話をしている姿が見られる。そこで、児童の興味関心を引くために人気のドラマやアニメなどの関連図を見せ、人物同士の関係を関連図にまとめることで関係が視覚的に分かりやすいことを押さえながら、授業をすすめていく。書き方を理解するためにも、昔話の動画を見せ、それを関連図としてまとめ、交流する活動も取り入れた。お互いに見比べることで、違いが比較しやすく、相手の意見を知りたいと思える活動であると考え

る。
さらに、単元名を児童とともに考えることで、自分たちが学習を通して何をすべきなのかを明確にできるようにした。今回、登場人物は、「クルル」「カララ」「仲間の群れ」「キツネ」であるが、それをまとめて、「危友鶴関連図」と児童は名付けた。その理由として、「危」＝危険なキツネ、「友」＝クルルとカララの関係、「鶴」＝仲間の群れのツルという意味でこのような造語を作成している。児童が自分たちで学習をつくっている気持ちを高めながら、「危友鶴関連図」を活用して人物の関係を読み取ることができるようにしていく。

◎児童の「なぜ」を活用する活動

物語を初めて読んだ感想を書く際に、「疑問に思ったこと」「みんなで読み深めたいこと」「気になること」を書かせる。児童の意見から出たことを「問い」として、それを解決するために読む学習をすすめる。児童のどうしてから授業をすすめていくことで、主体的な学びにもつながると考える。また、児童の話し合いを深めるためにヒントカードを用意した。これは、相手が「どうしてそのように考えたのか。」「なぜその言葉を使ってまとめたのか。」まで踏み込む話し合いにしているために児童と作成したものを活用していく。

◎児童の「できた実感」を引き出す活動

叙述を基に登場人物の心情や相互関係を捉えることができるようなワークシートを作成した。上段には本文、下段には空白となっている。読み取った心情を書く際に、どの言葉を基にしたのかを線で繋げたり、サイドラインを引いたりして、常に叙述から考えられるようにしていく。また、トリオや学級で交流することにより自信がつく。交流を通して自分の考えを広げたり、深めたりし、最後に自分の時間に戻し、自分の考えを確固たるものにする。

9 本時（全 10 時間中の第 5 時）

(1) 本時の目標

心情や様子が分かる言葉に着目し、クルルの心情を捉えることができる。

(2) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 5分	<p>1 学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級全体での大きな問いを確認する。 めあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの学習を掲示物の活用をして振り返る。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">2 場面を読み、人物の関係をまとめよう。</div> <p>2 2 場面を音読して、場面の様子を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2 場面を音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> どの場面を考えるのかを把握させる。 	<p><u>着目させたい叙述</u></p> <ul style="list-style-type: none"> まるで仲間殺しの犯人のように～ カララでさえ、だまって～ 自分のつばさの音すら、みっともない雑音 あのとき、どうして～ みんないやだ
展開 35分	<p>3 登場人物の行動・様子・会話・描写に着目をして、人物関係図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> クルル・カララの様子、行動が分かる部分の色分けをしてサイドラインを引く。 サイドラインを基に、ワークシートに人物関係図をまとめる。 <p>4 トリオで確認し、全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> トリオで確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> サイドラインを基に、ワークシートの下段に人物関係図を完成させるよう伝える。 共有では、自分の考えを広げたり深めたりすることが目的であることを確認する。 考えを広げるポイントをヒントとして示す。 	<p>イー①</p> <p>登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えようとしている。（ワークシート、発言）</p>
		<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【話し合いを深めるポイント】</p> <p>①考えを比較する。</p> <p>②理由を聞く。（なぜそう考えた？）</p> <p>③言葉の意味を聞く。（どうしてこの言葉を使ったの？）</p> </div>	

	<ul style="list-style-type: none"> 学級で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 叙述と、友達や学級での話し合いを基にクルルの心情をかくように促す。 	
まとめ 5分	5 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 2場面の様子についてまとめ、次時の活動へつなげる。 	

(1) 板書計画

<pre> graph TD A[カララ] --- B[仲間のツル] A --> C[クルル] B --> C </pre>	<h2>2場面 本文</h2>	<p>2場面を読み、人物の関係をまとめよう。</p> <p>人物どうしの関係について話し合おう く危友鶴（きゆうづる） 相関図を使って 「風切るつばさ」 木村 裕一</p>
--	-----------------	--